

ココロがある。

ミニディスクロージャー誌

お客さまとともに

平成 21 年 3 月期

(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)



ココロがある。コタエがある。

西日本シティ銀行



目指す銀行像の実現へ。

国内トップレベルのサービスを

地元で提供し、お客さまとともに栄える

九州No.1バンク

CONTENTS ココロがある。SIDE

トップインタビュー	①
地場産業発展のために	②
日々のお役に立つために	⑥
地域の皆さまとともに歩んでいくために	⑩

経営理念

理念

西日本シティ銀行は、高い志と誇りを持って
時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する
“九州No.1バンク”を目指します。

お客さまに一番近い

お客さまに一番近い銀行として、誠実に対応し、
圧倒的に支持される銀行をめざします。

地域に貢献する

健全経営を基本に、地域に貢献し、積極的に社
会的責任を果たすことで広く信頼される銀行を
めざします。

期待に応える人づくり

あたたかな心とチャレンジ精神を持ち、自由闊達
で積極果敢に行動する人づくりに努めます。

行動憲章

心がある

私たちは、いつもお客さまの身になって、丁寧
に対応し、真摯にご相談に取り組みます。

情熱がある

私たちは、いつもお客さまの声に、熱く行動し、
チャレンジし、スピーディにお応えします。

夢がある

私たちは、いつもお客さまの期待をこえた、新しく、
価値のある提案をお届けします。

TOP Interview

西日本シティ銀行のいまについて

取締役頭取 久保田 勇夫

**目指す銀行像の実現へ
向けてどのようなことに
取組まれているのですか**

私どもは、「国内トップレベルのサービスを地元で提供し、お客さまとともに栄える九州No.1バンク」を目指す銀行像として掲げています。

その実現のために、昨年度は例えば、個人のお客さまの多様化高度化するニーズにきめ細かくお応えする専門スタッフとして「資産運用アドバイザー」を営業店へ拡大配置しましたし、アジアに進出する地元企業をサポートするために、特にニーズの高いベトナム、タイの金融機関と業務提携し、海外ネットワークを拡充してきました。

また、昨年末は緊急保証制度の積極的なお知らせや活用など、中小企業の皆さまの資金ニーズにもきめ細かくスピーディーにお応えして

まいりました。

今後もより一層お客さまのご要望にお応えできるよう、レベルアップ、スピードアップに努めていきます。

いまの経営環境は

国際的な金融の不安定さは底を脱した感がありますが、实体经济の回復にはまだ時間がかかるだろうと思われ、地域経済や地元企業にも少なからず影響があると思っています。

また、地域金融機関を取り巻く経営環境は、ゆうちよ銀行の業務範囲拡大の動きや新規参入銀行のサービス拡大など、一段と激しさを増すものと思われます。

このような環境下ではありますが、私どもは目指す銀行像の実現にむけ、これまで以上に努力し、お客さまの利便性向上や中小企業金融の円滑化に努めていきます。

**今年10月には
合併5周年を迎えますね**

私どもが合併5周年を迎えることができるのは、ひとえに、お客さま、地域の皆さま、株主の皆さまの温かいご支援とご愛顧の賜物だと感謝しています。

その皆さまへの感謝の気持ちを込めて、合併5周年記念事業を今年5月から来年3月頃にかけて展開していきます。

第1弾として、今年5月に福岡市で開催された「博多どんたく港まつり」では、例年のどんたくパレード参加に加え、地域の皆さまとのふれあいの場として本店前に「NCB



5周年記念演舞台」を設置しました。地域の皆さまとともに伝統行事を楽しむことができた貴重な場となりました。

今後も、個人のお客さま向け5周年記念キャンペーンや、ビジネスのお役に立つ大型ビジネスフェアの開催、株主さま向け記念定期預金など、さまざまな形で感謝の気持ちを表すイベントを予定しています。

これからも「国内トップレベルのサービスを地元で提供し、お客さまとともに栄える九州No.1バンク」を目指して、従業員一同業務に邁進し、地域経済の発展に貢献してまいります。

地元企業と共に、
地域の繁栄を
目指します

ココロがある。





- リソナブルダニア銀行(インドネシア)平成8年提携 ●中国銀行(中国)平成13年提携 ●日本政策金融公庫(日本)平成13年提携
- 新韓銀行(韓国)平成19年提携 ●OCB(ベトナム)平成20年提携 ●BNPパリバ(ベトナム)平成20年提携 ●バンコック銀行(タイ)平成21年提携

海外ネットワークの拡充で 企業の国際ビジネスをサポート

地元企業の国際ビジネス拡大をサポートするため、企業の進出ニーズが高いベトナム及びタイの金融機関との業務提携による海外ネットワークの拡充に取組んでいます。

平成20年12月にベトナムの中堅リテール銀行であるオリエントコマース・シャルジョイント・ストックバンク、及び投資銀行業務やアセアン一円をカバーする各種情報提供力に強みを持つBNPパリバ・ホーチミン支店と、平成21年1月にタイ最大の民間商業銀行であるバンコック銀行との間で業務提携を締結し、これらの金融機関を通じて現地での各種金融サービスの提供や多様な情報提供などが可能となりました。

農業の未来を応援します

日々の食卓などを彩る農産物は、私たちの地元でも数多く生産されています。

実は身近な「農業」に食の安全への意識の高まりや食料自給率の問題などさまざまな面から最近大きな関心が向けられています。さらに、異業種からの農業参入や農業法人設立といった企業活動としての新たな動きなどもみられます。

このような動きを受け、私たちは、金融面で本格的に農業と向き合い、お客さまをサポートするために、福岡県内農業事業者向け融資商品「NCB農業応援資金」の取扱いを始めました。



最新ビジネス情報を 発信しています

国際ビジネス最新情報を発信

食品の安全性への関心が高まる中、海外でも品質・安全面で高い評価を得ている日本産食品への需要が高まっていることを背景に、成長著しいアジア地域への食品輸出を検討されている取引先を対象とした「海外向け食品販路拡大セミナー・商談会」を平成20年12月に開催しました。

中国向け食品輸出のゲートウェイとして注目され、日本産食品の取扱いが多い香港の食品商社の代表を講師に迎え、香港・中国への食品販路拡大のポイントについて解説を行いました。

また、同時に海外への販路拡大のビジネス機会の提供を目的に、個別商談会も行いました。



地域の注目情報を発信

今、福岡の街はダイナミックに変貌しています。中でも、九州の玄関口博多駅の再開発は最も注目を浴びる事業の一つではないでしょうか。

平成21年4月、2年後に迫った九州新幹線的全線開通に焦点を当てた「九州新幹線全線開通影響度考察セミナー」を外部専門家を講師に迎えて開催しました。参加者は当初予想を大幅に超える約250名となり、関心の高さがうかがえました。

講演は、講師による全線開通の影響度の分析とともに、新たな切り口による事前対策や開通後の地域営業戦略などの考察が展開され、参加者に大変好評でした。



地元企業の
ビジネスを
サポートします

ココロがある。



中小企業の皆さまの
資金ニーズへきめ細かく
ご対応しています

私たちは、円滑な資金供給や質の高い金融サービスのご提供を通じて地域経済発展のお役に立つことが、地域に根ざす金融機関として最大の責務であり、特に中小企業や個人事業主の皆さまの資金ニーズに円滑かつきめ細かくご対応することが大切であると考えています。

福岡県内では営業店でのご対応に加え、専門スタッフを配置した「ビジネスサポートセンター（福岡、北九州、久留米の3か所）」が、中小企業や個人事業主の皆さまの事業に関するご融資全般のご相談をお受けし、さまざまな資金調達をお手伝いしています。

今後も、中小企業の皆さまの役に立てるよう、中小企業金融の円滑化へ積極的に取組んでまいります。

<中小企業・個人事業主のお客さま：資金調達ニーズへのご対応窓口>

■最寄りの営業店ご融資窓口（東京・大阪支店を除く）

■ビジネスサポートセンター（BSC）福岡・北九州・久留米

ナイスパートナー

BSC 窓口受付／平日 9:00 ～ 15:00（土日祝日休み） BSC 共通フリーダイヤル 0120-713-817 ／平日 9:00 ～ 17:00

企業と企業をつなぐ
ビジネス商談会を
開催しています

お客さまのビジネスチャンス拡大を支援するさまざまな商談会を開催しています。

平成20年度は、大手スーパーや百貨店、コンビニエンスストアなど、バイヤーと直接商談できる商談会を8回開催し、延べ400社余りが参加されました。

平成21年2月には、全国でも屈指のモノづくり集積都市である大阪府東大阪市などで構成される団体との共催により、「都市間企業交流会」を九州で初めて開催しました。東大阪市の企業13社、九州・山口の企業23社が参加され、地元企業の九州圏外企業との販路拡大や新製品新技術開発につながる商談をお手伝いしました。



法人ソリューション部
高橋 典代

デリバティブ営業の専担者として、企業の経営戦略におけるリスクヘッジ手段のひとつである「コモディティ（商品）・デリバティブ」等のご提案を行っています。昨年の原油・原材料価格高騰が企業収益へ与える影響は実に大きく、お客さまの生のお声を拝聴する度に「何とかしてお役に立ちたい」と実感しました。

今後も、お客さまの身になって真摯に対応し、価値ある提案をお届けできるようソリューション営業に邁進してまいります。

九州の元気を応援します。

志、情熱企業

～中小企業紹介テレビ番組～

地元企業の中で、技術力やノウハウ等をもつ特徴ある企業を紹介するテレビ番組を毎週放映中です。当番組で紹介した企業は50社を超えました。

当行ホームページ(<http://www.ncbank.co.jp>)でも番組内容をご覧いただけます。

いつでも
お客さまのニーズに
お応えしていきます

ココロがある。

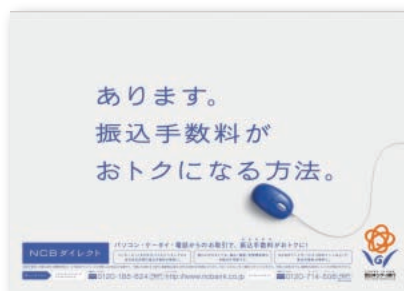


賢く便利にお取引
「NCBダイレクト」

「何かと忙しい毎日、簡単に銀行取引を済ませたい。」そんな個人のお客さまへのお勧めは、「NCBダイレクト」。方法は「テレフォンバンキング」「インターネットバンキング」「モバイルバンキング」の3種類。振込や預金の振替、定期預金など手続きができる。ご来店不要のダイレクトバンキングサービスで、振込手数料は窓口受付よりお得になります。

平成21年1月より、インターネットバンキングでの高いセキュリティを実現するため、取引毎に更新されるパスワードを利用する「ワンタイムパスワードサービス」を開始。また、定期預金取引も新規口座開設や払出取引がパソコンで操作できるようになりました。

(注)ご利用には事前の登録お申込及び月額基本手数料105円(消費税等込)が必要です。



お取引内容に応じて特典いっぱい
「NCBポイントサービス」

「NCBポイントサービス」は、お客さまのお取引内容をポイント化し、その合計ポイントに応じて各種の特典をご提供するサービスです。

例えば、50ポイント以上(ステージ2以上)の方は、当行・ローソン・九州内のみ、ATMについて平日のATM利用手数料が無料となります。その他、ローン金利の優遇などもあります。いろいろなお取引をまとめて、ポイントを貯めればお得な特典が増えていきます。

また、お取引店を最大5ヶ店まで登録することができ、合計されたポイントは、登録したすべてのお取引店で適用されます。

(注)年会費不要です。特典を受けるためには、事前のお申込が必要です。サービスの詳細は、お近くの窓口へお尋ね下さい。



1枚3役で使える機能満載
「オールインワンカード」

オールインワンカードは、キャッシュカード機能に加え、急な出費もバックアップするカードローン機能、お買い物などに幅広く使えるクレジットカード機能を備えています。

また、便利な付属カードやサービスも充実。例えば、高速道路等の通行料金支払専用カード「ETCカード」やイオンショッピングモールなどで使える電子マネー対応「KYUSHU CARD WAO N」が本カードご利用の方へ付属カードとして発行可能です。

さらに、ご契約後カード作成月から1年間は、当行・ローソン・九州内のみ、ATMの利用手数料が無料となります。

(注)ご利用には、お申込が必要です。また、所定の審査の結果、ご希望に添えない場合もございます。あらかじめご了承ください。ベーシック年会費は通常1312円(消費税等込)です。



ワンク



スノーマン

カードフェイスは上記の他、ワンク/シルバー(生体認証対応カード)、ワンク/ピンク、レッド、ブラック、LOGO/キミドリ、ピンクがございます。

平日昼間無料で使える
ATMが大幅に増えました
「九州ATMネットワーク」

お客さまの利便性向上のため、平成21年2月23日より、九州の地方銀行10行(当行、福岡銀行、筑邦銀行、佐賀銀行、大分銀行、十八銀行、親和銀行、肥後銀行、宮崎銀行、鹿児島銀行)間におけるATM利用手数料の相互無料化を実施しました。

これにより、当行のお客さまは、平日昼間(8時45分～18時)は10行の2千994か所・6千355台(平成21年3月末現在)のATM・CDを手数料無料でご利用できます。

- ◎相互無料化の対象取引は、カードによる引き出しと振込です。(振込には所定の振込手数料が別途必要です。)
- ◎コンビニATMは相互無料化の対象外です。
- ◎左記のマークが貼付してあるATMコーナーが対象となります。



10行間のATM利用可能時間帯、及び手数料

	8:00	8:45	18:00	21:00
平日	105円	無料	105円	
土日祝日		105円		

◎相互利用可能時間帯は平日8:00～21:00、土日祝日9:00～17:00です。

◎時間帯により時間外手数料105円(消費税等込)が別途必要です。

◎1月1日～3日および5月3日～5日(日曜日と重なる日を除く)は相互利用できません。

プラスアルファの窓口です

NCBアルファ天神出張所は、福岡市の中心地「天神」にあり、平日は19時まで、土日祝日は17時まで営業しています。

曜日や時間を気にせずゆつくりと、どなたでもご利用いただけるコンサルティングプラザで、専門スタッフが、お客さまの資産運用に関するご相談に対し、ライフプランに合わせたご提案をしています。また、暮らしに役立つ身近な話題から現在の経済情勢をテーマにしたものまで、さまざまなテーマの無料セミナーも随時開催しています。

福岡市中央区天神2-5-28
西日本シティ銀行大名支店ビル4階
平日9時～19時、土日祝日10時～17時
(5月3日～5日及び12月31日～1月3日を除きます。)



便利なNCBいつでもプラザ
(インスタブランチ)

平日は20時まで、土日祝日も17時までご利用いただける「NCBいつでもプラザ」。

福岡県下12か所(福岡市及びその近郊に6店舗、北九州地区に3店舗、筑後地区に3店舗)の大型ショッピングセンター内で毎日営業しています。

お客さまの「できたらいいな」にお応えして「資産運用やローンのご相談受付」、「普通預金の口座開設」がご利用いただけます。

平日でも土日祝日も…お近くの「NCBいつでもプラザ」にお気軽に立寄りください。

(注)「普通預金の口座開設」は、平日19時までのお取扱いです。営業日は5月3日～5日、12月31日～1月3日とショッピングセンター店休日を除きます。



NCBいつでもプラザ一覧

- 田島支店(ダイエー笹丘店内)
- 福岡東サティ出張所
- ゆめタウン行橋出張所
- ショッピングモールマリナタウン出張所
- ゆめタウン筑紫野出張所
- ゆめタウン久留米出張所
- イオンスーパーセンター古賀店出張所
- 戸畑サティ出張所
- ゆめタウン大牟田出張所
- 赤間支店(サンリブくりえいと宗像内)
- ゆめタウン遠賀出張所
- ゆめタウン大川出張所

【営業時間】 平日10:00～20:00 土日祝日10:00～17:00 ※田島支店、赤間支店は平日9:00より、ゆめタウン遠賀は平日18:00まで

おうちに居ながら相談できる
窓口があります

「電話で資産運用の相談ができないかしら。」「ローンの相談はしたいけど店頭ではちよつと…」

そんなお客さまにご利用いただきたいのが、フリーダイヤルで預金商品をはじめとする資産運用のご相談ができる「NCBナイスコール」、そして、住宅ローンなどのご相談・お申込などができる「ローンコールデスク」です。

また、ローンに関しては、パソコンや携帯電話画面で各種ローンのシミュレーションやご相談、仮審査のお申込など、いつでも便利にご利用いただけるローン専用サイト「ナイスクイック・j p」を開設しています。

預金商品については

NCB ナイスコール
0120-714-506

ローン商品については

ローンコールデスク
0120-714-919

【受付時間】 平日 9:00 ～ 20:00
(銀行休業日は除きます)

ローン専用サイト
URL **714919.jp**
ヘアクセス

お客さま一人一人の
ライフプランに合わせて

5年、10年、20年後の暮らしに思いをめぐらせる…皆さまそれぞれに思い描くライフプランをお持ちだと思います。その時々に必要なお金に関するさまざまなことを見据え、具体的な資産運用のアドバイスやご提案を大切にしています。

各店への資産運用アドバイザーの配置をすすめており、窓口担当者とともに皆さまのご相談を承ります。本部スタッフも、資産運用を中心に、ご相談を承るチーフマネーアドバイザー、また、相続や事業の承継も含めたご相談にはファイナンシャルアドバイザーやプライベートバンカーが各店の担当者とともに皆さまの思いの実現をお手伝いします。



プライベートバンキング室
福岡西ブロック担当

チーフマネーアドバイザー
小川 香保里

お金に関することは、皆さまにとってとても大事なことのひとつですので、安心してご相談いただけるように、分かりやすく、身近に感じていただけるご説明を心がけています。

また、一度だけのご相談ではなく、その後もご資産の運用などに携わらせていただけるようなご提案をしています。

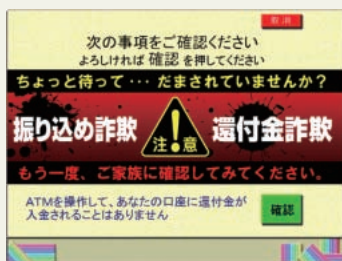
安心に向けて取組んでいます（金融犯罪対策）

振り込め詐欺被害の
未然防止対策の実施について

社会問題化している振り込め詐欺被害の未然防止に向けたさまざまな取組みを行っています。

ATMでは、お振込みをされるお客さまに対し、振り込め詐欺の被害防止を目的として、ATM画面上に「注意メッセージ」を表示しています。この度、画面表示をより視認性の高いデザインに変更しました。

このメッセージを確認していただいた後、お振込手続き画面へと進みます。メッセージを必ずお読みいただき、被害に遭わないようご注意ください。



ATM画面「注意メッセージ」
イメージ

その他「ポスター」や「ステッカー」の掲示などによりさまざまな注意喚起を行っています。また、全てのATMコーナーにおいて携帯電話での通話を自粛していただいています。携帯電話で通話されているお客さまには、犯罪被害未然防止の観点から行員より声をかけさせていただく場合があります。ご理解とご協力をお願いします。

振り込め詐欺救済法への
対応について

被害者救済の観点から、振り込め詐欺等の犯罪に利用され口座凍結して残存している犯罪被害資金を、被害者の方へ返還する手続き等を定めた法律として「犯罪利用預金口座等に係る資金による被害回復分配金の支払等に関する法律」(振り込め詐欺救済法)があります。当行は、同法に則り、当行口座に振り込みをされた被害者の方へ、犯罪被害資金を返還してまいります。

預金の不正な払戻しへの
対応について

当行は、個人のお客さまの盗難通帳(証書)やインターネットバンキングによる預金等の不正な払戻しによる被害につきまして、平成20年7月1日より補償しております。

その他、預金者保護法に則り、個人のお客さまの偽造・盗難キャッシュカード等による被害の補償を実施しており、また、ICキャッシュカードや生体認証の導入など被害を防止するための方策を講じています。

詳細につきましては、当行のホームページをご参照ください。

金融犯罪被害(振り込め詐欺や預金不正払戻し等)に関するご相談は
「金融犯罪被害に関する相談窓口」

☎ 0120-797-919 へ

【受付時間】 平日 9:00～17:00
(銀行休業日は除きます)

地域と地球の
未来と将来を
共に考えて
いきます

ココロがある。



企業の環境への
取組みを応援します

金融を通じてサポートします

地球環境の保全活動へ関心が寄せられる中、私たちが銀行としてできる企業の環境保全活動への金融面でのサポートとして、「環境私募債」を取扱いしています。

「環境私募債」は、企業の資金調達の手段としての私募債発行時のコストを、特に環境に配慮した活動を行っている企業についてさらに優遇することで、その活動を間接的にサポートします。

また、サポートの幅を広げるために日本政策投資銀行との環境分野での業務提携に基づいた「DBJ環境格付」融資による協調融資も行っています。

お役に立つ情報をお届けします

二酸化炭素排出量の削減など、環境配慮について企業の社会的責任が注目され、企業による省エネ対策への関心が高まっています。

環境問題に取組んでいる企業の皆さまに役立つ情報をご提供するために、平成21年2月には、「省エネ法対策セミ

ナー及び製品展示会」を開催しました。本セミナーでは、専門家による省エネ法改正やその動向をテーマにした講演や電気設備、照明器具の省エネについて具体的事例を交えた講演を行いました。

また、省エネ製品を紹介する展示会も同時に開催し、講演だけでなく実際の器具等を見て感じていただく機会となりました。



環境室の設置

環境問題への積極的取組の一環として、平成21年5月に環境室を設置しました。

環境問題に関する幅広い情報収集及び調査に努めるとともに、環境問題に関する各担当部署との連携を図ることにより、環境ビジネスを通じた地域貢献を図っていきます。

地域の環境保全活動を
支援しています

地域自然環境の保護活動を支援するため、平成20年10月23日から11月28日まで、「みんなで！エコキャンペーン」を行いました。キャンペーンの一環として「エコ定期預金」を募集し、平成20年11月28日現在の「エコ定期預金」残高の0.01%（上限200万円）の金額を当行より環境保全活動を行う団体に寄付させていただきました。こととしていました。

期間中、多くの皆さまにご賛同いただきました結果、平成21年4月に財団法人福岡県水源の森基金「緑の募金」へ200万円の寄付を行いました。環境保護に対する支援活動へのご理解とご協力に感謝いたします。



地球環境を守り、次の世代に美しい地球を残してあげることは、今に生きる人類の責務であり、企業も個人も環境に配慮した行動が求められています。中でも、地球温暖化問題は、世界中が協力して取組むべき緊急の課題となっています。

私たち西日本シティ銀行は、自らも環境に配慮した企業活動を行うとともに、金融面でのお手伝いや情報提供を通じて、地域の皆さまと一緒にこの問題に取り組みたいと考えています。

環境室 室長 四辻 正明



皆さまのおかげで、 合併5周年を迎えます

私たちは、平成21年10月1日に合併5周年を迎えます。これもひとえに皆さまの温かいご支援とご愛顧の賜物であり、心よりお礼申し上げます。その感謝の気持ちを込め、合併5周年記念事業を随時実施しています。

平成21年5月3、4日「博多どんたく港まつり」では、例年参加のどんたくパレードに加え、市民の皆さまとのふれあいの場として、本店前に「どんたく演舞台」を設置しました。市民の方々による演技披露や当行役職員による特技の披露も行い、多くの皆さまと楽しいひとときを過ごすことができました。

今後実施する記念事業についても随時ご案内いたします。



高校生が金融経済知識を競う 「エコノミクス甲子園」 九州大会開催

経済環境の大きな変化や、金融犯罪の多発など社会生活の中で金融・経済面においても自己責任を問われるようになってきています。

現代社会にはばたく直前の高校生たちにクイズ形式で楽しみながら金融経済知識を学んでもらい、将来の設計に役立ててもらおうと、平成20年12月に、第3回高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」九州大会を開催しました。日本全国各地域で、地域銀行がNPO法人金融知力普及協会と共催しているもので、九州大会は私たちが担当しました。



最新の経済金融情報をお届けします 「新春経済講演会」

時々刻々と社会が変化する中、経済金融についての情報をタイムリーにお届けする機会として、昨年に引き続き、地域の皆さまをお招きし、新春経済講演会を開催しました。(平成21年1月)

今回は、「2009年経済・金融の見通し」世界、日本、そして九州」と題し、最新の経済金融情報をお伝えしました。今後も皆さまのお役に立つ情報を提供する機会を設けていきます。



新旧の発見があります 「新ふるさと発見誌」 「九州流」創刊

九州には今も昔もエネルギー溢れる多くの人たちによって、さまざまなものが生み出され受け継がれています。

平成21年1月、私たちは、ふるさとの明日の豊かさに貢献したいとの思いを込め、国際レベルの人物や文化的な情報を九州から発信していく「新ふるさと発見誌」「九州流」を創刊しました。今後もしばしば情報を皆さまへお届けします。

また、昭和54年から継続して発行している小冊子「ふるさと歴史シリーズ」博多に強くなるう」「北九州に強くなるう」は、現在94号となっています。



アジアとの交流のお手伝い
【財団法人 西日本国際財団】

近隣アジア諸国との国際交流推進により、国際相互理解の促進及び国際的人材の育成をはかり、国際親善と世界平和の推進に寄与することを目的として、さまざまな活動を行っています。

また、九州・山口・沖縄地域を対象に、毎年「アジア貢献賞」として、アジアとの国際交流に貢献している団体・個人を、「アジアKids大賞」として、次代を担う子どもたちが国際交流活動を行っている学校等を表彰しています。



皆さまに愛される
ミニコンサート
【財団法人 福岡文化財団】

毎月1回本店エントランスホールで開催する「プロムナードコンサート」。お陰さまで23年間皆さまに愛され、平成21年6月で282回を数えました。毎年12月には、日本ユニセフ協会九州本部とともに、「ユニセフチャリティクリスマスコンサート」も開催しています。

また、福岡市内の小学校を訪問し、本のクラシック音楽演奏や大道芸パフォーマンスを披露する「ふれあいライブ」も、子どもたちに大変喜ばれています。

当財団は、美術、音楽、演劇等芸術を通して、文化の向上を図り、より豊かな地域社会づくりに貢献するさまざまな活動を行っています。



世界の子どものための
未来を守るお手伝い
【日本ユニセフ協会 九州本部】

世界の子どもたちが、平和で健康に暮らせるようにと活動する日本ユニセフ協会の九州本部事務局を昭和45年の創立以来当行が担当しています。

募金や古切手、書損はがきの収集活動のほか、学校や職場での講演など、ユニセフの活動を多くの方に知っていただくための活動を行っています。

また、外国コインは国内では両替困難なため、海外から持ち帰ってそのまま…ということが多いことから、眠ったままのコインを役立てようと「外国コイン募金」も行っています。全営業店の窓口で募金箱を設置し、ユニセフの活動をサポートしています。



地域の優れた経営者を表彰
【財団法人 九州・山口地域
経済貢献者顕彰財団】

九州・山口地域において産業の開発、経済の発展に特に寄与している中堅・中小企業で、経営面・技術面に優れた業績を有する経営者の方々を毎年表彰し、「経営者賞」を授与しています。昭和47年の財団創設以来、表彰は36回を数え、受賞者は138名となりました。

また、受賞者が経営する企業のうち26社が上場または店頭公開を果たされています。



コタエがある。

ミニディスクロージャー誌

業 績 ・ 財 務 デ ー タ

平成 21 年 3 月期

(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)



ココロがある。コタエがある。
西日本シティ銀行



CONTENTS

コタエがある。SIDE

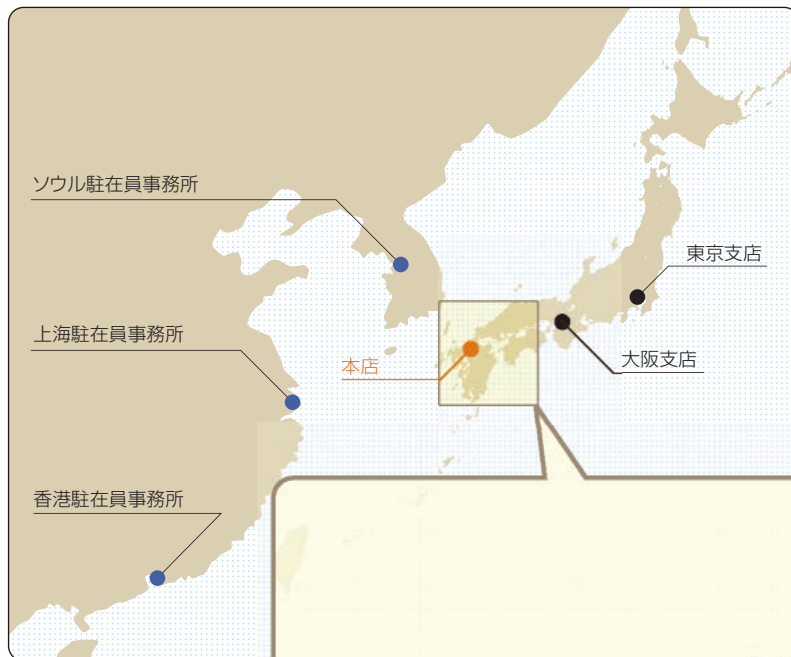
店舗網のご案内	①
平成21年3月期業績ハイライト	②
株式の状況	⑤
平成21年3月期財務諸表	⑥

※計数につきましては、原則として単位未満を切り捨てて表示しております。

平成21年6月発行 株式会社 西日本シティ銀行 広報文化部 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3丁目1番1号 TEL 092-476-1111 (代表) ホームページ ▶<http://www.ncbank.co.jp>

プロフィール

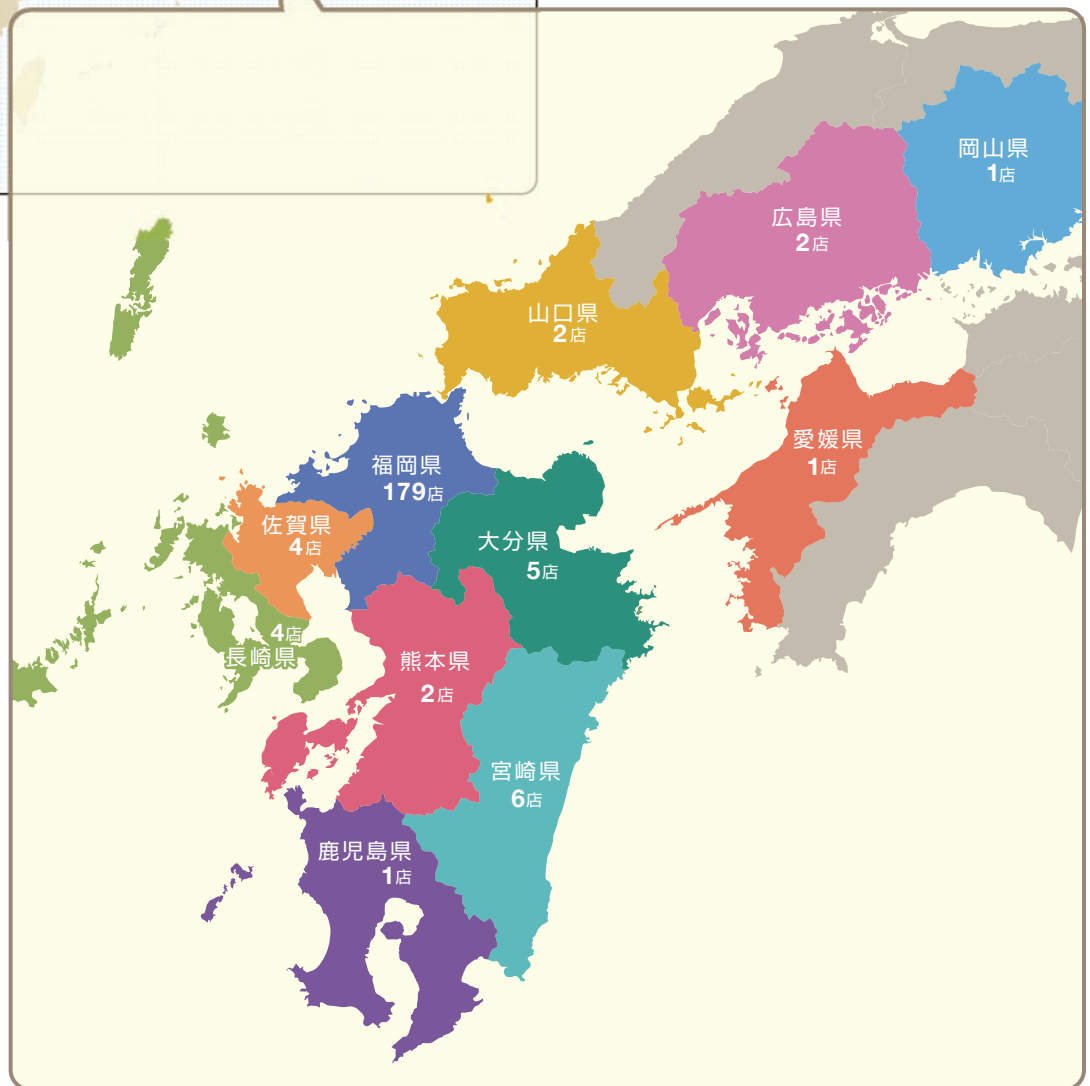
商号	株式会社西日本シティ銀行
設立	昭和19年12月1日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前3丁目1番1号
資本金	857億45百万円
店舗数	209か店
従業員数	4,029名
総資産	6兆8,866億円
預金・譲渡性預金残高	6兆700億円
貸出金残高	4兆8,494億円
(平成21年3月31日現在)	



●店舗数 209か店

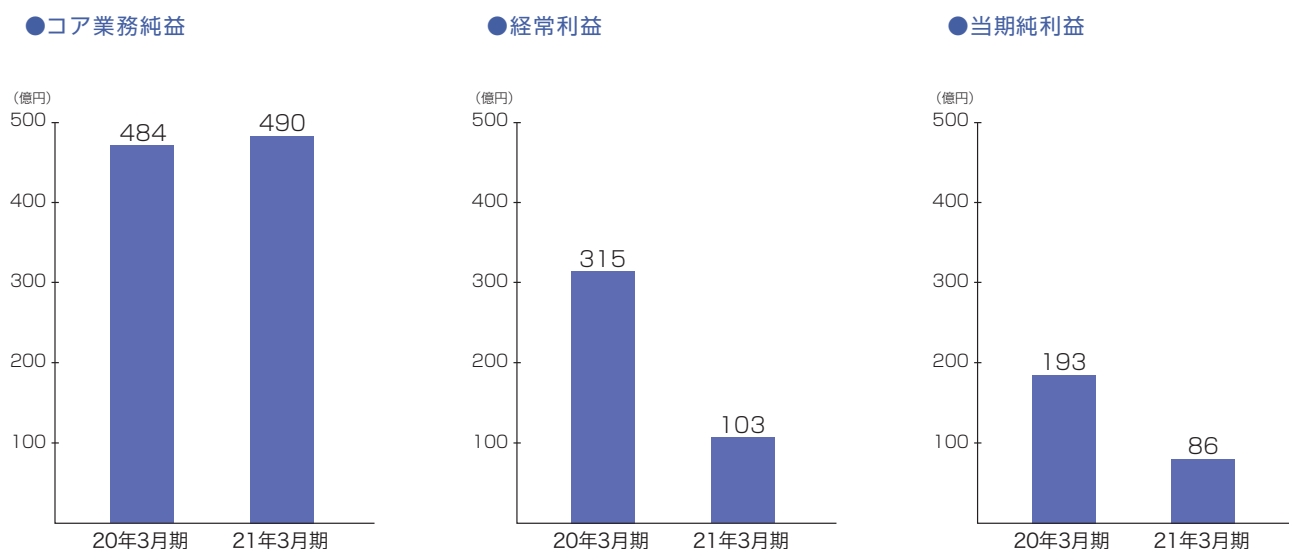
●海外駐在員事務所 3か所

ATM／1,868台：店内916台、店外952台
(うちコンビニATM434台：ローソン339台、am/pm95台)



損益の状況 (単体)

預り資産販売の低迷等により役務収益は減少しましたが、貸出金の増加による貸出金利息の増加等により、平成21年3月期のコア業務純益は490億円となりました。また、信用コストや保有株式の減損処理費用の増加等により経常利益は103億円、当期純利益は86億円となりました。



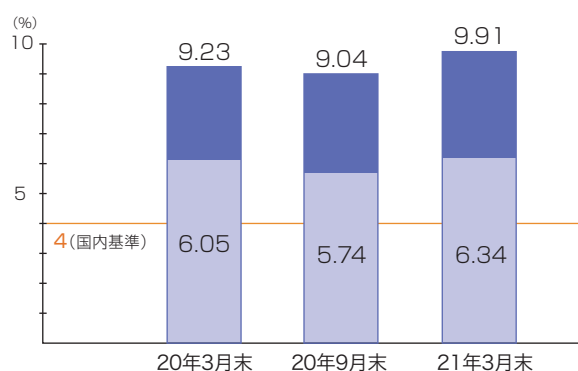
自己資本比率の状況

平成21年3月末の自己資本比率は、単体で9.91%、連結で9.87%となりました。また、中核的自己資本であるTier I 比率は、単体で6.34%、連結で6.32%となりました。今後も資本の充実を図り、自己資本比率の向上に努めてまいります。

●自己資本比率・Tier I 比率

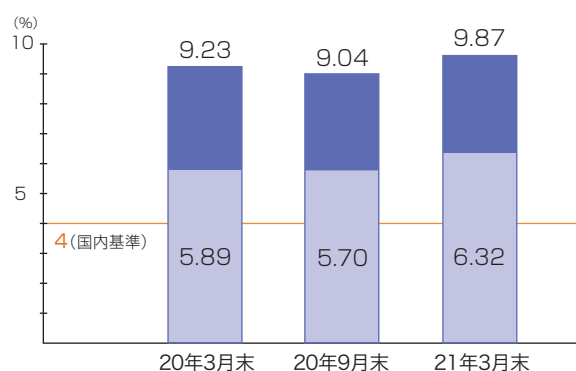
[単体]

■自己資本比率
■うちTier I 比率



[連結]

■自己資本比率
■うちTier I 比率



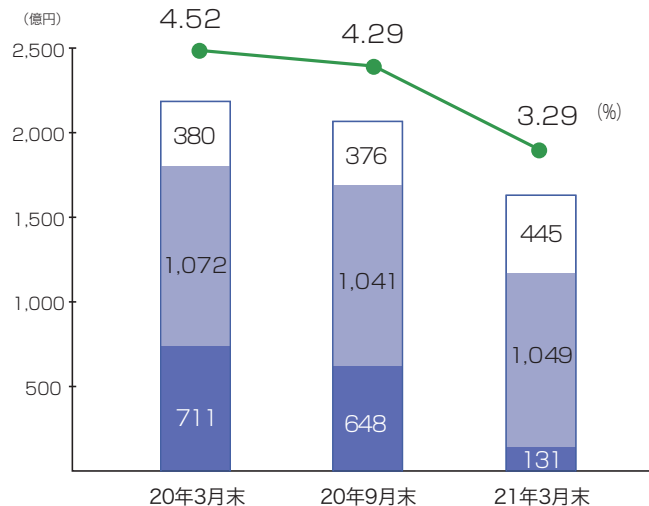
不良債権の状況（※分割子会社合算ベース）

平成21年3月末の金融再生法に基づく開示債権の残高は、資産の自己査定基準に基づき、償却・引当を実施した結果、平成20年3月末比538億円減少し1,626億円となり、開示債権比率は3.29%となりました。

※分割子会社合算ベース＝銀行単体＋NCBターンアラウンド株式会社

●不良債権比率

□ 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 □ 危険債権 □ 要管理債権 ● 金融再生法開示債権比率



用語説明

コア業務純益

預貸金業務などによる“資金利益”や投資信託等の販売手数料などの“役務取引等利益”などを含む“業務粗利益”から“経費”を差し引いたもので、銀行本来業務の収益力を表す指標として一般的に用いられています。

$$\text{コア業務純益} = \text{業務粗利益（除く国債等債券損益）} - \text{経費}$$

自己資本比率

銀行の健全性を示す指標のひとつです。
国内基準で4%以上を維持することが求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本（資本金など）}}{\text{リスク度合を考慮した資産}}$$

Tier I 比率

自己資本のうち資本金・資本剰余金・利益剰余金などの基本的項目をもとに算出される自己資本比率です。

用語説明 ～金融再生法による開示債権の定義～

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産・会社更生・再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

危険債権

債務者が、経営破綻の状態には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約通りの返済を受けることができなくなる可能性の高い債権

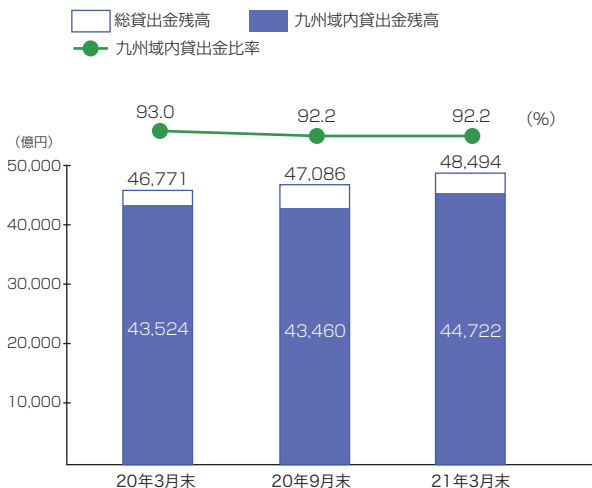
要管理債権

3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

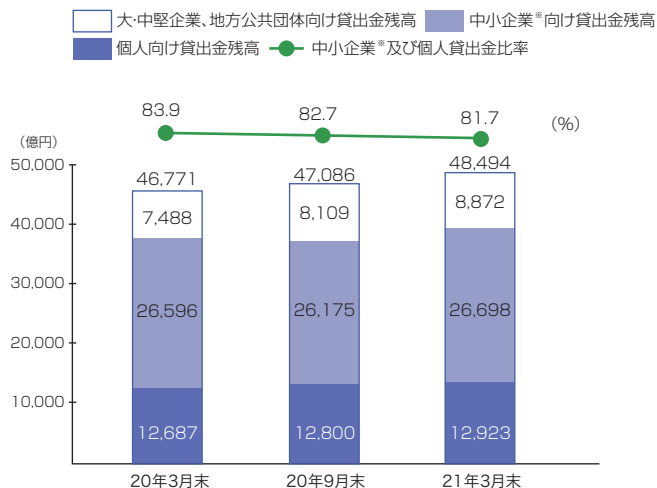
貸出金の状況

平成21年3月末の総貸出金のうち、九州域内での貸出金の比率が92.2%、また、中小企業※及び個人への貸出金の比率が81.7%と九州の特に中小企業・個人のお客さまを中心とした様々な資金ニーズにお応えしております。

●貸出金と地域の内訳



●貸出金と対象先の内訳

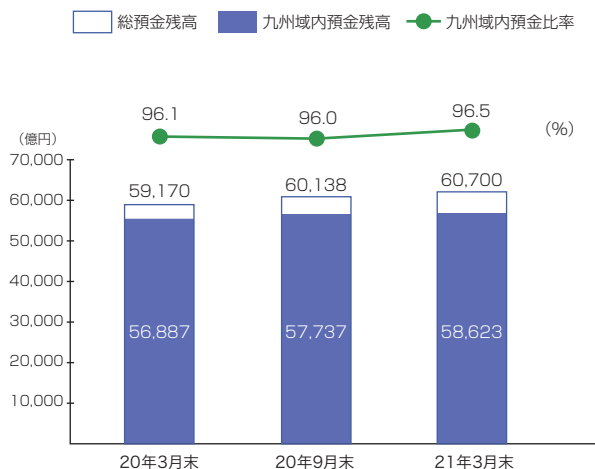


※中小企業…資本金3億円(但し、卸売業は1億円、小売業、サービス業は5千万円)以下の会社または常用する従業員が300人(但し、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人)以下の会社及び個人事業主

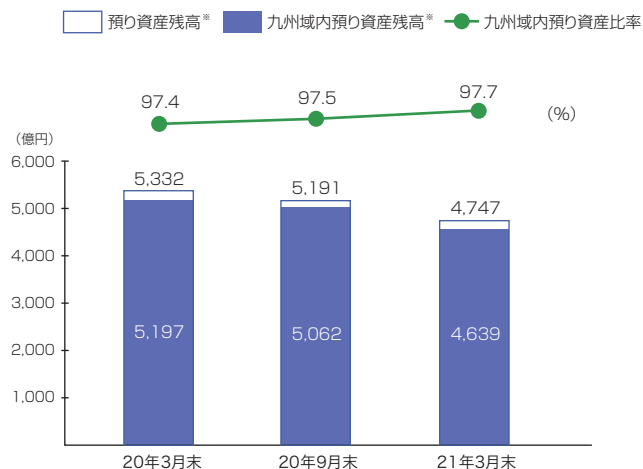
預金・預り資産の状況

平成21年3月末の譲渡性預金を含む預金残高のうち、九州域内での預金の比率が96.5%、預り資産(投資信託・個人年金保険)のうち九州域内での預り資産の比率が97.7%となっており、九州地域の皆さまから多くのご資産をお預りするとともに、皆さまの多様なニーズにお応えするため、商品・サービスの充実を図っております。

●預金(譲渡性預金を含む)と地域の内訳



●預り資産(投資信託・個人年金保険)と地域の内訳



※預り資産残高=投資信託残高+個人年金保険販売累計額

株式の状況

発行可能株式総数	1,800,000,000株	内普通株式 1,500,000,000株 内優先株式 300,000,000株
平成21年3月31日の発行済株式の総数	831,732,552株	内普通株式 796,732,552株 内第一回優先株式 35,000,000株
平成21年3月31日の株主数		普通株式 23,757名 第一回優先株式 1名

大株主（普通株式）

(平成21年3月31日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	81,586	10.24
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	53,201	6.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	39,543	4.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	34,140	4.28
日本生命保険相互会社	20,477	2.57
富士火災海上保険株式会社	18,746	2.35
東京海上日動火災保険株式会社	14,099	1.76
株式会社みずほコーポレート銀行	13,507	1.69
株式会社りそな銀行	11,000	1.38
明治安田生命保険相互会社	10,945	1.37

(注) 1.所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。2.持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

大株主（第一回優先株式）

(平成21年3月31日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社整理回収機構	35,000	100.00

株式のご案内

- 1. 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
- 2. 定時株主総会** 6月に開催いたします。
- 3. 配当金**

期末配当金
お支払いについて 3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いいたします。

中間配当金
取締役会の決議によって中間配当を行う場合は、9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いいたします。

配当金のお受取りには、当行の預金口座への振込をご利用いただきますと、速くて便利です。
- 4. 基準日** 定時株主総会については3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 5. 公告方法** 電子公告による公告とし、当行ホームページ(<http://www.ncbank.co.jp>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、西日本新聞と日本経済新聞に掲載いたします。
- 6. 株主名簿管理人
特別口座の
口座管理機関**

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社

(1) 事務取扱場所 福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
電話：福岡(092)741-0284

(2) お問合せ先 〒137-8650
東京都江東区塩浜二丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理人部
☎0120-707-843

(ご注意) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買増・買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成21年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
現 金 預 け 金	253,344	預 金	6,204,737
コールローン及び買入手形	687	譲 渡 性 預 金	109,590
買 入 金 銭 債 権	37,931	コールマネー及び売渡手形	109,386
特 定 取 引 資 産	1,451	債券貸借取引受入担保金	48,066
金 銭 の 信 託	1,991	借 用 金	167,488
有 価 証 券	1,570,882	外 国 為 替	68
貸 出 金	5,073,132	社 債	93,500
外 国 為 替	2,467	信 託 勘 定 借	5
そ の 他 資 産	41,703	そ の 他 負 債	58,095
有形固定資産	122,430	退職給付引当金	11,575
無形固定資産	3,164	役員退職慰労引当金	1,016
繰延税金資産	76,643	睡眠預金払戻損失引当金	719
支払承諾見返	90,600	偶 発 損 失 引 当 金	1,166
貸 倒 引 当 金	△ 66,677	再評価に係る繰延税金負債	22,612
投資損失引当金	△ 1,392	支 払 承 諾	90,600
		負 債 の 部 合 計	6,918,629
		純 資 産 の 部	
		資 本 金	85,745
		資 本 剰 余 金	90,301
		利 益 剰 余 金	82,349
		自 己 株 式	△ 615
		(株主資本合計)	(257,780)
		その他有価証券評価差額金	△ 21,411
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△ 2
		土 地 再 評 価 差 額 金	28,112
		為 替 換 算 調 整 勘 定	△ 0
		(評価・換算差額等合計)	(6,698)
		少 数 株 主 持 分	25,253
		純 資 産 の 部 合 計	289,733
資 産 の 部 合 計	7,208,363	負債及び純資産の部合計	7,208,363

連結損益計算書 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	179,088
資 金 運 用 収 益	140,954
(うち貸出金利息)	(117,761)
(うち有価証券利息配当金)	(21,911)
信 託 報 酬	10
役 務 取 引 等 収 益	29,511
特 定 取 引 収 益	130
そ の 他 業 務 収 益	6,155
そ の 他 経 常 収 益	2,326
経 常 費 用	161,234
資 金 調 達 費 用	25,217
(うち預金利息)	(18,661)
役 務 取 引 等 費 用	9,697
そ の 他 業 務 費 用	8,566
営 業 経 費	83,629
そ の 他 経 常 費 用	34,122
経 常 利 益	17,854
特 別 利 益	2,681
特 別 損 失	1,142
税金等調整前当期純利益	19,393
法人税、住民税及び事業税	179
法 人 税 等 調 整 額	4,408
法 人 税 等 合 計	4,587
少 数 株 主 利 益	189
当 期 純 利 益	14,616

連結株主資本等変動計算書 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

科 目	金 額
株主資本	
資本金	
前期末残高	85,745
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	85,745
資本剰余金	
前期末残高	90,301
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	90,301
利益剰余金	
前期末残高	71,033
当期変動額	—
剰余金の配当	△ 3,601
当期純利益	14,616
自己株式の処分	△ 14
土地再評価差額金の取崩	316
当期変動額合計	11,316
当期末残高	82,349
自己株式	
前期末残高	△ 597
当期変動額	△ 46
自己株式の取得	28
自己株式の処分	△ 17
当期変動額合計	△ 615
当期末残高	△ 615
株主資本合計	
前期末残高	246,482
当期変動額	—
剰余金の配当	△ 3,601
当期純利益	14,616
自己株式の取得	△ 46
自己株式の処分	14
土地再評価差額金の取崩	316
当期変動額合計	11,298
当期末残高	257,780
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	△ 986
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 20,425
当期変動額合計	△ 20,425
当期末残高	△ 21,411
繰越ヘッジ損益	
前期末残高	△ 2
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 0
当期変動額合計	△ 0
当期末残高	△ 2
土地再評価差額金	
前期末残高	28,428
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 316
当期変動額合計	△ 316
当期末残高	28,112
為替換算調整勘定	
前期末残高	△ 0
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 0
当期変動額合計	△ 0
当期末残高	△ 0
評価・換算差額等合計	
前期末残高	27,440
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 20,741
当期変動額合計	△ 20,741
当期末残高	6,698
少数株主持分	
前期末残高	25,615
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 362
当期変動額合計	△ 362
当期末残高	25,253
純資産合計	
前期末残高	299,538
当期変動額	—
剰余金の配当	△ 3,601
当期純利益	14,616
自己株式の取得	△ 46
自己株式の処分	14
土地再評価差額金の取崩	316
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 21,103
当期変動額合計	△ 9,805
当期末残高	289,733

財務諸表

貸借対照表 (平成21年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
現 金 預 け 金	222,076	預 金	5,943,316
コ ー ル ロ ー ン	687	譲 渡 性 預 金	126,740
買 入 金 銭 債 権	13,985	コ ー ル マ ネ ー	109,386
特 定 取 引 資 産	1,448	債券貸借取引受入担保金	48,066
金 銭 の 信 託	1,991	借 用 金	184,537
有 価 証 券	1,566,358	外 国 為 替	68
貸 出 金	4,849,415	社 債	82,000
外 国 為 替	2,467	信 託 勘 定 借	5
そ の 他 資 産	38,855	そ の 他 負 債	34,641
有 形 固 定 資 産	117,626	退 職 給 付 引 当 金	10,487
無 形 固 定 資 産	2,407	役員退職慰労引当金	782
繰 延 税 金 資 産	71,531	睡眠預金払戻損失引当金	686
支 払 承 諾 見 返	58,666	偶 発 損 失 引 当 金	1,130
貸 倒 引 当 金	△ 48,182	再評価に係る繰延税金負債	22,065
投 資 損 失 引 当 金	△ 12,696	支 払 承 諾	58,666
		負 債 の 部 合 計	6,622,580
		純 資 産 の 部	
		資 本 金	85,745
		資 本 剰 余 金	85,684
		資 本 準 備 金	85,684
		利 益 剰 余 金	85,089
		利 益 準 備 金	61
		その他利益剰余金	85,027
		圧 縮 積 立 金	3
		別 途 積 立 金	76,039
		繰越利益剰余金	8,984
		自 己 株 式	△615
		(株主資本合計)	(255,903)
		その他有価証券評価差額金	△19,953
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△2
		土 地 再 評 価 差 額 金	28,112
		(評価・換算差額等合計)	(8,156)
		純 資 産 の 部 合 計	264,060
資 産 の 部 合 計	6,886,640	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	6,886,640

損益計算書 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	164,393
資 金 運 用 収 益	132,582
(うち貸出金利息)	(109,546)
(うち有価証券利息配当金)	(22,308)
信 託 報 酬	10
役 務 取 引 等 収 益	24,501
特 定 取 引 収 益	130
そ の 他 業 務 収 益	4,999
そ の 他 経 常 収 益	2,169
経 常 費 用	154,016
資 金 調 達 費 用	24,695
(うち預金利息)	(17,586)
役 務 取 引 等 費 用	11,363
そ の 他 業 務 費 用	8,327
営 業 経 費 費	74,818
そ の 他 経 常 費 用	34,810
経 常 利 益	10,377
特 別 利 益	3,437
特 別 損 失	935
税 引 前 当 期 純 利 益	12,879
法人税、住民税及び事業税	75
法 人 税 等 調 整 額	4,121
法 人 税 等 合 計	4,197
当 期 純 利 益	8,682

(ご参考)

信託財産残高表 (平成21年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
有 形 固 定 資 産	1,539	包 括 信 託	1,699
銀 行 勘 定 貸	5		
現 金 預 け 金	154		
資 産 の 部 合 計	1,699	負 債 の 部 合 計	1,699

株主資本等変動計算書 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

科 目	金 額
株主資本	
資本金	
前期末残高	85,745
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	85,745
資本剰余金	
資本準備金	
前期末残高	85,684
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	85,684
資本剰余金合計	85,684
前期末残高	85,684
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	85,684
利益剰余金	
利益準備金	
前期末残高	61
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	61
その他利益剰余金	
圧縮積立金	
前期末残高	4
当期変動額	△0
圧縮積立金の取崩	△0
当期変動額合計	△0
当期末残高	3
別途積立金	
前期末残高	59,693
当期変動額	—
別途積立金の積立	16,346
当期変動額合計	16,346
当期末残高	76,039
繰越利益剰余金	
前期末残高	19,948
当期変動額	—
剰余金の配当	△3,601
圧縮積立金の取崩	0
別途積立金の積立	△16,346
当期純利益	8,682
自己株式の処分	△14
自己株式の処分	△14
土地再評価差額金の取崩	316
当期変動額合計	△10,963
当期末残高	8,984
利益剰余金合計	
前期末残高	79,707
当期変動額	—
剰余金の配当	△3,601
圧縮積立金の取崩	—
別途積立金の積立	—
当期純利益	8,682
自己株式の処分	△14
自己株式の処分	△14
土地再評価差額金の取崩	316
当期変動額合計	5,381
当期末残高	85,089
自己株式	
前期末残高	△597
当期変動額	—
自己株式の取得	△46
自己株式の処分	28
当期変動額合計	△17
当期末残高	△615
株主資本合計	250,539
前期末残高	250,539
当期変動額	—
剰余金の配当	△3,601
当期純利益	8,682
自己株式の取得	△46
自己株式の処分	14
自己株式の処分	14
土地再評価差額金の取崩	316
当期変動額合計	5,364
当期末残高	255,903
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	△1,620
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△18,333
当期変動額合計	△18,333
当期末残高	△19,953
繰越ヘッジ損益	
前期末残高	△2
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△0
当期変動額合計	△0
当期末残高	△2
土地再評価差額金	
前期末残高	28,428
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△316
当期変動額合計	△316
当期末残高	28,112
評価・換算差額等合計	
前期末残高	26,806
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△18,649
当期変動額合計	△18,649
当期末残高	8,156
純資産合計	
前期末残高	277,346
当期変動額	—
剰余金の配当	△3,601
当期純利益	8,682
自己株式の取得	△46
自己株式の処分	14
自己株式の処分	14
土地再評価差額金の取崩	316
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△18,649
当期変動額合計	△13,285
当期末残高	264,060

* 次頁「」の表紙側よりご覧ください